

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 44 号

第 44 週(10月 30日 ~ 11月 5日)

発行年月日:平成18年(2006年) 11月 9日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

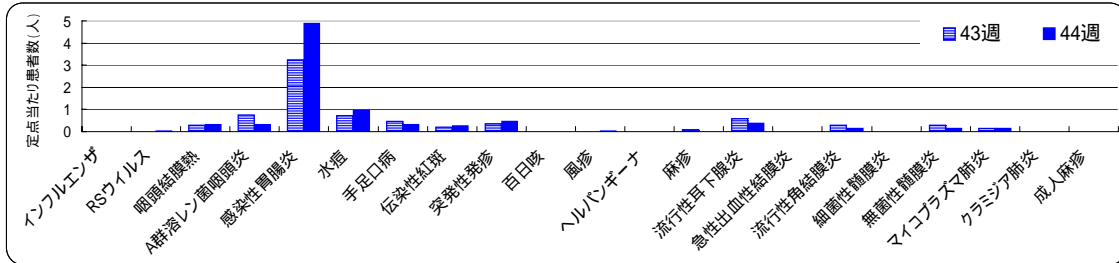
今週の感染症発生動向

感染性胃腸炎の発生は増加傾向 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成18年第1~44週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(10月23日~10月29日)の報告数より増加しています。増加した疾患は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、水痘等で、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、手足口病等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症2名ならびに五類感染症の劇症型溶血性レンサ球菌感染症1名および後天性免疫不全症候群1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第44週、定点当たり患者数)

県全体における上位疾患の発生状況は1位 感染性胃腸炎、2位 水痘、3位 突発性発疹、4位 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、5位 咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎および手足口病です。

感染性胃腸炎は先週に引き続き増加し、大津、草津および東近江で多くなっています。特に、東近江における定点当たり患者数は11.20と非常に多くなっており、今後の発生動向に十分に注意する必要があります。

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成18年第1~44週)

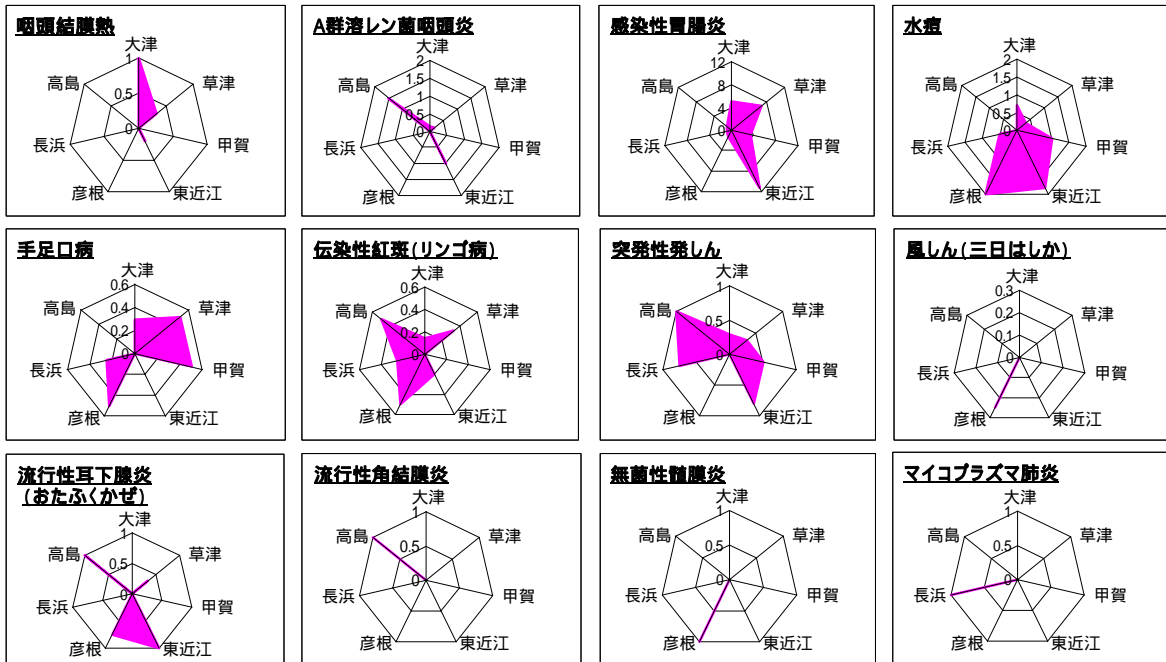
感染症類型	疾患名	1~40週の累積報告数	41~44週の報告年月日	概 要		
				菌種、血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・感染経路等
二類感染症	報告なし	0				
二類感染症	コレラ(疑似症)	1	報告なし			
	細菌性赤痢	6(*)	報告なし			
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	41	H18.10.14	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)+VT2(+)	日本国内	不明
			H18.10.18	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)+VT2(+)	日本国内	牛肉生食
			H18.10.18	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)+VT2(+)	日本国内	牛肉生食
			H18.10.19	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)+VT2(+)	日本国内	不明
			H18.10.25	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	不明
			H18.10.26	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	経口感染
			H18.10.29	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	不明
			H18.10.29	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	不明
			H18.10.30	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	不明
			H18.11.2	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)+VT2(+)	日本国内	不明
* VT1:ベロ毒素1型 VT2:ベロ毒素2型						
四類感染症	E型肝炎	1	報告なし			
	A型肝炎	21	報告なし			
	レジオネラ症	11	報告なし			
五類感染症	アメーバ赤痢	7	報告なし			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	H18.10.25		日本国内	経口感染
	後天性免疫不全症候群	7	H18.11.4	無症候性キャリア	ブラジル	不明
	ジアルジア症	1	報告なし			
	梅毒	3	H18.10.23	早期顕症梅毒	日本国内	同性間性的接触
急性腸炎	1	報告なし				

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第44週、10/30～11/5)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.31	1.00	0.33	0	0.20	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.31	0.14	0.17	0	1.00	0	0	1.50	
感染性胃腸炎	4.88	5.00	6.83	3.50	11.20	1.25	0.75	1.00	
水痘	0.94	0.71	0.33	1.00	1.80	2.00	0.50	0	
手足口病	0.31	0.29	0.50	0.50	0	0.50	0.25	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.25	0.14	0.33	0	0.20	0.50	0.25	0.50	
突発性発しん	0.47	0.29	0.33	0.50	0.80	0	0.75	1.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.38	0	0.33	0	1.00	0.75	0	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	0	0	0	0	0	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	1.00	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加、
■ は定点当たり患者数が非常に多い状態
 0 1 2 3 4 5
 定点当たり患者数(人)

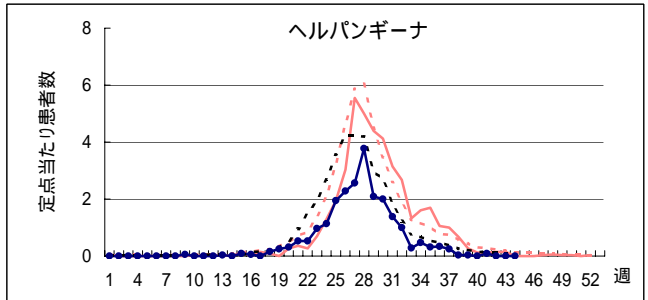
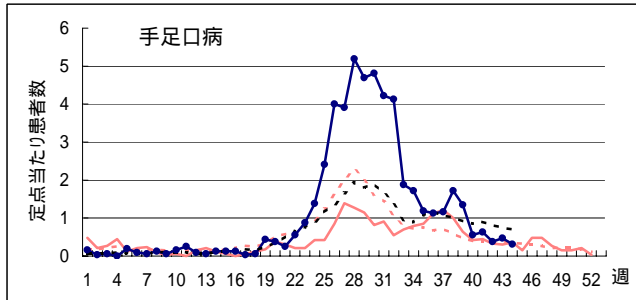
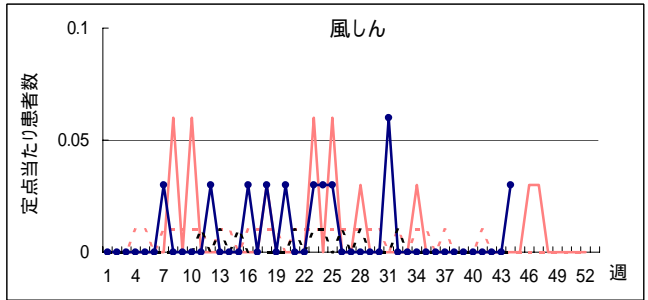
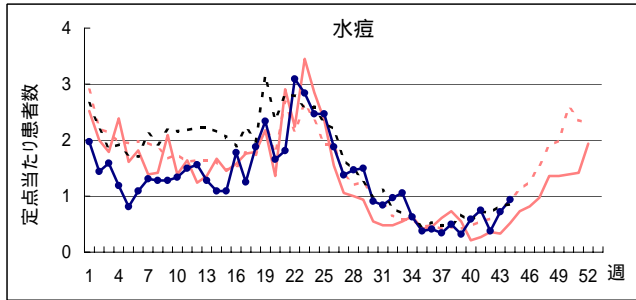
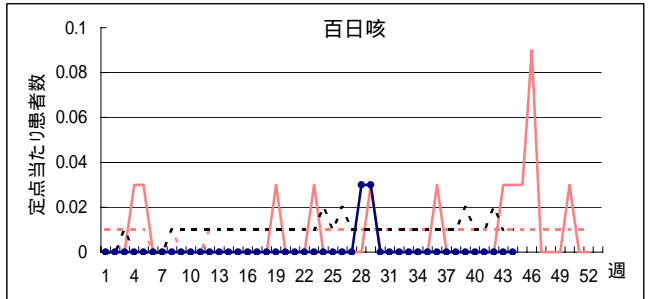
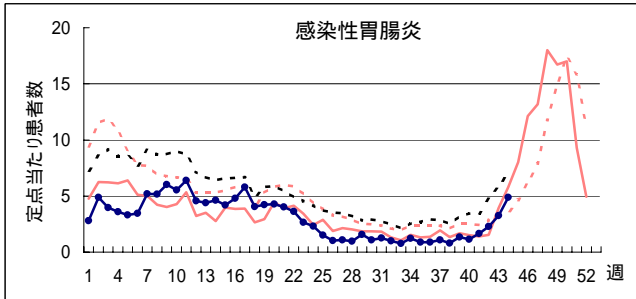
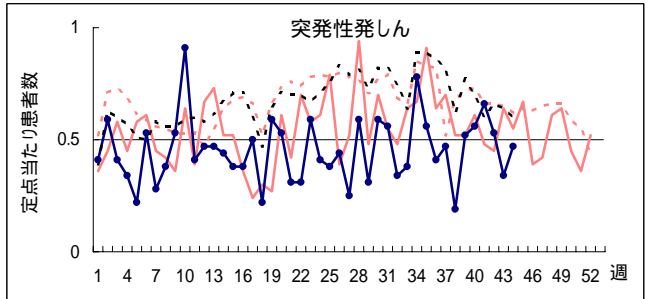
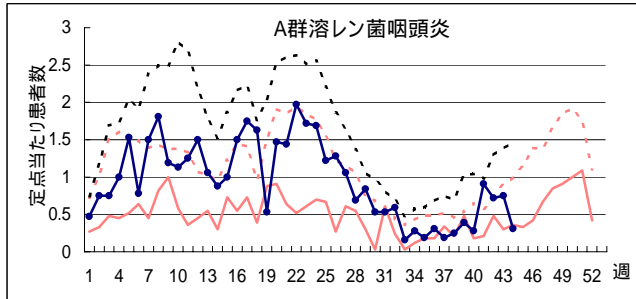
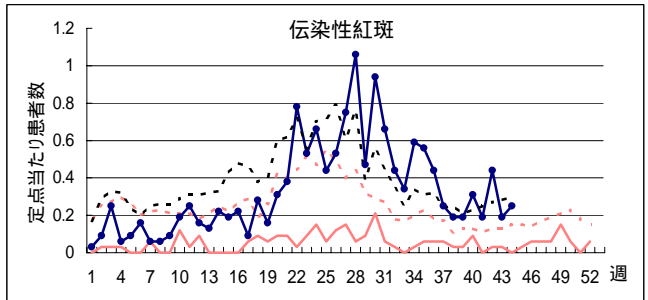
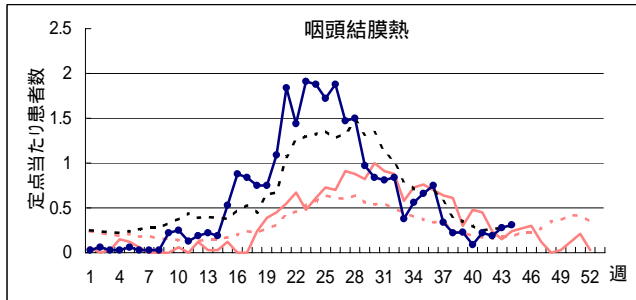
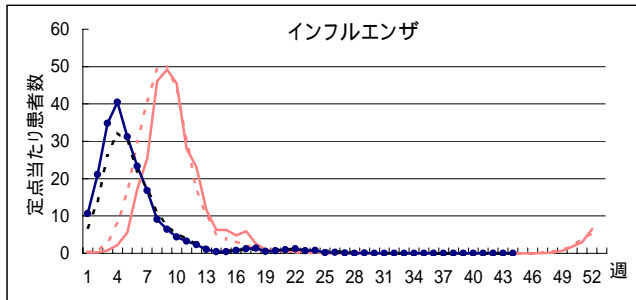
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- 咽頭結膜熱----- 県全体では微増傾向を示し、大津でやや多くなっています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎---- 高島では先週よりさらに減少し、定点当たり患者数は1.50となっています。
- 感染性胃腸炎----- 彦根および長浜以外では先週より増加し、特に東近江では先週の約3倍増となっています。
- 水痘----- 東近江で先週よりかなり多くなっています。
- 手足口病----- 先週多かった草津で少なくなり、県全体としても先週より減少しています。
- 伝染性紅斑----- 県全体では先週よりやや多くなっています。
- 突発性発しん----- 県全体では先週よりやや多くなっています。年齢別では、～11ヶ月が大部分ですが、8歳における報告もあります。
- 風しん----- 彦根からの報告で年齢は6歳です。
- 流行性耳下腺炎----- 大津、草津、甲賀および彦根で先週より少なくなっています。
- 流行性角結膜炎----- 高島から報告されています。
- 無菌性髄膜炎----- 彦根から報告されています。
- マイコプラズマ肺炎----- 長浜から報告されています。
- RSウイルス感染症----- 東近江から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第44週、H18.1.2～H18.11.5)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第44週、H18.1.2～H18.11.5)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国

